

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	11	学校名	仙台市立榴岡小学校	校長名	多賀野 修久
------	----	-----	-----------	-----	--------

## 1 取組のタイトル, テーマ

身近なところでエコ活動



## 2 取組の紹介

### (1) ペットボトルキャップ回収

JRC委員会の児童が中心になって行っている活動です。委員会で回収日を決め、放送やポスターで全校児童に呼び掛けます。当日は、朝のあいさつをしながらペットボトルキャップを受け取ります。また、回収したキャップが世界の子供たちを救うワクチンとして役立っていることを放送やお便りをとおして伝え、協力を呼び掛けます。

### (2) ツツジの植樹

飼育・栽培委員会の児童が南校舎の道路に面している花壇に、40本のツツジを植えました。行方植物園の皆様からアドバイスをいただきながら、大切に植えました。今後、ツツジの世話は子供たちの手に委ねられます。このツツジは榴岡小学校昭和35年度卒業生の皆様からの寄贈品です。春にはきれいな赤色の花を咲かせます。

## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

### (1) ペットボトルキャップ回収

JRC委員会の児童が昼の放送でクイズを行うなど、積極的に回収を呼び掛けたことにより、キャップで一杯になった袋が車に積みなくなるほど集まりました。委員会の児童だけでなく全校の児童が自分たちの取り組んでいる活動の意義を知り、エコ活動への協力意識が高まっていました。



### (2) ツツジの植樹

飼育・栽培委員会の児童がツツジのことを気にかける姿、大切にしている姿を見ることができました。水やりをし、世話をするという気持ちが子供たちの心の中にしっかりと根付いていることを感じます。子供たちの思いが形となって現れる、この春が楽しみです。



# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	12	学校名	仙台市立八幡小学校	校長名	高山 典子
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

「環境を守るために何ができるかを考える児童を育成する。」



## 2 取組の紹介

### 【環境委員会での取組】

環境委員会では、今年も春と秋に花壇の植え替えを行いました。その際、児童で話し合い、花壇のレイアウトを決め、植える花苗の種類も考えました。また、呼び掛けやポスターの掲示をとおして、ゴミの分別の大切さを校内に広めました。

### 【学校全体の取組】

各クラスや職員室にゴミ箱を2つ設置し、普通ゴミとプラスチックゴミと分別できるようにしています。また、ストローの袋はプラゴミ、使用済みの本体は普通ゴミなどルールを設けて取り組んでいます。

### 【3年生の取組について】総合的な学習の時間「広瀬川となかよくなるよう」

3年生は学区内にある広瀬川について学習をしています。例年は実際に広瀬川に行き、自然観察やゴミ拾いなどの活動を行ってきましたが、今年度も校外学習ができなかったため、ゲストティーチャーをお招きして広瀬川について教えていただきました。

流域ごとの川の様子を写真や動画で観たり、水槽に入った水生生物を間近で観察したりすることで、広瀬川の環境について学びました。また、川の環境を守ることが海を守ることにつながることを知りました。広瀬川に関する学習をとおして、環境問題に興味を持った児童が多く見られました。一人一人が課題を持って調べ学習に取り組み、分かったことを発表しました。



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

環境委員会の取組では、水やりや草取りなど植物の世話をとおして、多くの児童が自然環境に興味関心を持つことができました。また、委員会からの呼び掛けによって、以前よりも環境問題について考えるようになった児童の姿が見られました。

3年生の総合的な学習の時間の取組では、写真や動画で学習したり、実際に生き物を間近で観察したりすることで、広瀬川や環境問題に興味を持つことができました。また、自然環境を守りたいという想いを育むことができました。



# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	13	学校名	仙台市立南小泉小学校	校長名	堤 由美
------	----	-----	------------	-----	------

## 1 取組のタイトル, テーマ



自分たちの暮らしとエネルギーや環境のつながりを学ぶ子供 ～ 目指せ！省エネマスター ～

## 2 取組の紹介

南小泉小学校では、総合的な学習の時間にエネルギー環境教育を取り入れています。3年生では「太陽の力」、4年生では「電気の通り道」について学習をしてきました。5年生では、「目指せ！省エネマスター」というテーマを掲げ、身近なエネルギーや環境についての課題に気付き、調べ学習や体験活動を通して自分の考えを持ち、友達と協力して行動していく児童の育成を目指して取り組みました。

仙台市環境出前講座：シンプル&スローライフの会さんと伊達武将隊の皆様の協力をいただき、植物を育ててグリーンカーテンを作りました。省エネをしながら涼しく過ごすにはどうするかを考え、体験を通して学びました。



12月には、それまでの省エネについての体験活動や学習したことを生かして、イルミネーションを作成しました。LED電球を利用することで消費電力を抑えながら、地域の人たちへ灯りの美しさなどを伝えるという目的を持って、作成しました。



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

昨年度までの学習に加え、栽培や実験などの体験を伴った学習を多く取り入れることで、子供たちが知識だけでなく実体験を伴って学ぶことができました。その結果、知識と体験を関連付けながら課題に対する解決策を考えることができました。また、学んだことを基にして友達との話合いの中で考えを伝え合ったり、協力したりする姿がより多く見られるようになりました。子供たちそれぞれが、省エネについて興味・関心の幅を広げ、主体的に学習することができました。

## 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	14	学校名	仙台市立原町小学校	校長名	須藤 洋
------	----	-----	-----------	-----	------

### 1 取組のタイトル, テーマ

環境問題について考えよう

～ペットボトルイルミネーションを通して～



### 2 取組の紹介

4年生の社会科「ごみのしゅりと利用」, 総合的な学習の時間での「環境問題について考えよう」の学習をとおして, 家庭で出るごみの量や学校で出るごみ・給食で出る残食の多さを知りました。そこで, ごみに関わる問題について捉えさせるために動画を活用し, 地球の環境を守るためには多くの課題があることを学びました。そこから, 自分たちにできるごみを減らす具体的な活動として, 普段の生活で身近なペットボトルの再利用について考えました。



昨年度, 6年生が国語科で学習した「未来のまちづくり」の発展として市民センターと連携した「ペットボトルイルミネーション」を実施しました。今年度は4年生が社会科と環境問題の観点から「Miyachu ギャラリー クリスマスイルミネーション」を計画し, ペットボトルの再利用を考える学びにつなげました。集めたペットボトルにペンで丁寧に色を塗り, 市民センターの方々に教えてもらいながら設置作業をお手伝いしました。また, 点灯式に向けてポスターを作り商店街に掲示させてもらったり, 校内でも昼の放送やポスター掲示を通じて活動の紹介や点灯式の呼び掛けをしたりしました。完成したイルミネーションは JR 陸前原ノ町駅の広場をはじめとして, 原町商店街のお店や学校出入り口付近の窓, 校舎内の階段にも飾りました。イルミネーションは大小のツリー型やランタンをつなげた飾りなど, 市民センターの御協力をいただきながら多様な作品に仕上がりました。

### 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

活動を通して自分たちが出すごみの量の多さや, ごみにも様々種類があり処理の仕方にもそれぞれ違いがあるなど, ごみに関する問題について関心が高まりました。また, この学習をとおして, ゴミを減らすためには分別を意識して生活することが重要であることや, 3Rをもとに簡単にごみを出さないこと, ゴミになりそうな物も工夫次第ですてきな物に生まれ変わることに気付くことができました。学習後の振り返りでは, 「今回, 学習したことをたくさんの人に知ってもらい, 皆でゴミを減らしていきたい」, 「皆の住む地球は, みんなで住みよい環境にしていきたい」など, これからの生活に向けた前向きな考えを持つことができました。





# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	15	学校名	仙台市立長町小学校	校長名	浅野 裕一
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル、テーマ 人と環境とのかかわり



## 2 取組の紹介

各学年で生活科・理科・総合的な学習の時間等に行った活動や、委員会での活動について紹介します。

### ・1年生：「きれいにさいてね」

アサガオを栽培し、生長の様子を観察しました。冬には、アサガオのつるを使ってリース作りをしました。また、冬にはビオラとチューリップを植え、その生長を待ちわびています。

### ・2年生：「大きくなあれ わたしの野さい」、「生きものなかよし大作せん」

ミニトマトを栽培し、生長の様子を観察しました。また、学校敷地内の「四季山」で生き物探しをしたり、学級ごとにザリガニを育てたりして生き物と親しみました。

### ・3年生：「大豆はかせになろう」

大豆を栽培し、生長の様子を観察しました。コロナ対策のため豆腐作りを実施せず、総合的な学習の時間と関連させて広く「豆」について学び、調べたことをまとめました。

### ・4年生：「広瀬川について調べよう」

広瀬川の上流・中流・下流の特徴や生息する生き物について学びました。その後、自然環境をテーマに調べ学習や発表会を行い、環境について地球規模で考えました。

### ・5年生：「長町米を育てよう」

地域の方の指導をいただきながら、田植え・水やり・収穫などを体験し、自分たちで育てた米を使い、餅をついて鏡餅にすることで、食への感謝の気持ちを学びました。

### ・6年生：「生き物のくらしと環境」「地球に生きる」

生き物と周囲の環境や、人と水・空気・生き物の関わりについて調べ、人が気持ちよく生活していくために大切なことについて考えました。外国語活動の中で、世界の絶滅危惧種について調べ、分かったことをクイズにして3年生に伝えるイベントを催しました。

### ・ひまわり学級：「野菜を育てよう」

畑にエダマメを栽培し、収穫しました。

### ・緑化委員会：堆肥「杜のめぐみ」を活用した校内の美化活動を実施しました。花壇に草花の苗や球根を植え、草取りや水やりなどに取り組みました。カンナの球根を植栽に生かし、秋に掘り起こして株分けし、来年度に活用する予定です。

### ・ボランティア委員会：敷地内にある「四季山」の清掃活動を定期的に行いました。また、遊具の清掃や、校内の清掃ロッカーの掃除などに取り組みました。



## 3 取組の成果（児童生徒の変容）

各学年や委員会の活動をとおして、身の回りの環境や動植物について興味を持つ児童が増えました。「地球環境を守っていくために自分たちにできることは、食べ残しを減らしたり、裏紙を再利用してゴミを減らしたり、今日から一人一人ができる小さな心掛けだ。」という意見が出されました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	16	学校名	仙台市立向山小学校	校長名	小野 雄一
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル 「地域の特色を生かした環境活動」～ 地域との連携 ～



## 2 取組の紹介

### (1) どんぐりの森づくりプロジェクト (低学年)

地域にある野草園と連携した活動で、生活科の学習の中で「環境教育」として行っています。

1, 2年生の児童が向山中央公園に落ちているどんぐりを野草園の皆さんの御協力の下、ポットに植えて、苗木を育てる活動です。数年後に育った苗は、東日本大震災で被災した海岸公園などに市民の方々と協力して植栽していました。どんぐりの森をつくる自然の営みの大切さを学び、震災前の自然豊かな森を取り戻すことの一助となっています。児童公園で育てているので、児童が気軽に成長の様子を見に行くことができます。



### (2) 広瀬川での生き物観察 (中学年)

4年生の総合的な学習の時間と理科を関連させた「環境教育」として、学区に近い広瀬川の生き物観察の学習を行いました。はじめに、保護者ボランティアの御協力の下、広瀬川に入って生き物を探す活動をしました。水の流れの速さや温度を肌で感じたり、魚のえさとなる水生昆虫の住み処を見付けたりと、身近な自然の豊かさを体感することができました。その後、「カワラバン」の菅原正徳代表に、広瀬川の上流・中流・下流には、自然環境に適応しながら様々な種類の生き物が生息していることを教えていただきました。また、実際に川の中に入り、ごみが捨ててあったり、汚れていたりする川の様子を目の当たりにすることで、地域の資源や環境を維持していくために自分たちに取り組めることや今後の課題を考えることができました。



## 3 取組の成果 (児童の変容)

向山地区は野草園、向山中央公園、広瀬川など自然環境に恵まれた地域であることから、地域の方々や近隣の公共施設と連携して、自然の様子に対する興味や関心を高めることができました。どんぐりの苗木を育てている向山中央公園は、季節を感じ取ったり、自然を活用したりする学習の場であるとともに、児童の日常生活にとって身近な遊び場にもなっており、学年に関わらず交流することのできる場所になっています。上記の活動以外にも、野外活動や田植え、竹の子取りや落ち葉拾いなど、実際の体験を通し自然に触れることで、くらしと住環境についての知識が深まっていきます。今後も、学年に応じた「環境教育」に積極的に取り組んでいくことで、より良い環境について考えようとする気持ちを育てていきます。



# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	17	学校名	仙台市立北六番丁小学校	校長名	麻生 信行
------	----	-----	-------------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

「皆が笑顔で過ごせるように」



## 2 取組の紹介

### ① 節水

手洗いの際に水を出しっ放しにしないことや、パレットや習字の筆を学校では洗わないことを決め、日頃から節水を心掛けています。

### ② ベルマーク・使用済みインク集め

環境委員会が率先して各学級に声掛けを行い、ベルマークや使用済みインクの回収活動を行いました。厳しい教育環境にある子供たちのためにと多くの児童が参加し、多くのベルマークが集まりました。



### ③ 環境委員会による花植活動

環境委員会の活動として、校舎前の花壇に花を植えました。北六番丁小学校の友達や来校される方が、明るい気持ちになるように、優しく丁寧に植えました。季節に応じた身近な植物の変化を感じながら花を植える活動を通して、自然や命と向き合う時間が持てました。

### ④ PTAによる環境美化活動

春と秋の年2回行われる校庭の美化活動です。教職員と児童・保護者が一緒に校庭内の草取りや石拾い、ゴミ拾いをします。皆で一体となって環境整備に取り組むことができました。



## 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

日々の生活の中で自然と関わりながら、資源を無駄にしない活動や皆が気持ちよく過ごせる活動に励んできました。このような取組を通して、子供たちの「人のために」という意識が高まっています。

今後も環境のことを考える機会を大切にしながら、全校で協力して取り組んでいきたいです。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	18	学校名	仙台市立西多賀小学校	校長名	板垣 和幸
------	----	-----	------------	-----	-------

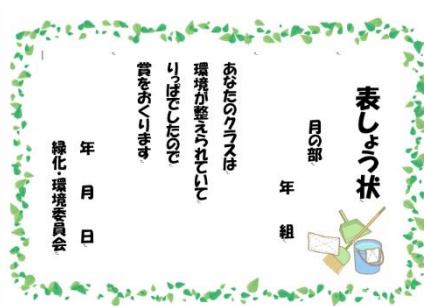


1 取組のタイトル, テーマ 「全校の環境をきれいにしよう」

2 取組の紹介

## ① 校内の環境チェック

緑化・環境委員会は月1回校内環境チェックを行っています。全クラスのごみの分別, 掃除ロッカーの整理, 机と机のフックの整理, 雑巾の掛け方, ロッカーの整理, 廊下のフックの掛け方の計6項目を1~3点で評価し, 良かったところや改善点をクラスごとに伝えていきます。また, 各学年の1位を昼の放送で発表し, 賞状を送ることで教室環境をより良くしようという意欲を高めています。



年 組	評価・・・たいへんよい◎ よい○ あまりよくない△					
チェック日	✓	✓	✓	✓	✓	✓
担当クラス						
① ごみはきちんと分別されていますか。						
② そうじロッカーはきちんと整理されていますか。						
③ 机と机のフックはきちんと整理されていますか。						
④ ぞうきんはきれいにかけられていますか。						
⑤ ロッカーは整っていますか。						
⑥ 廊下のフックはきちんとかけられていますか。						

## ② 花いっぱい運動

緑化・環境委員会と PTA の連携行事として「花いっぱい運動」を夏・秋の年2回行い, 当運動では, 学校の花壇に球根や苗を植えました。校庭で遊んでいる児童は誰でも参加してよいこととし, 委員会以外の児童も活動に参加するなど, 学校全体で緑化活動を行いました。また, 今年度も委員会の6年生が近隣の中学校で行われた「花いっぱい推進事業」に参加し, 花の苗植えを行いました。植えた苗や球根の水やりを委員会の中で分担して行っています。



## ③ ごみの分別

全校の各教室で, 燃えるごみとプラスチックごみの二つのごみ箱と古紙回収箱を設置し, ごみの分別を行っています。三つの箱の近くには何が燃えるゴミなのかという分別の仕方の表示も掲示しており, 全学年で分別しやすい環境が整っています。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

校内環境チェックの放送では多くの児童が熱心に結果を聞き, 次回はより良い教室環境に改善しようとする姿が見られました。「花いっぱい運動」では苗や球根を植えて終わりではなく, その後も自分たちの手で育てていこうとしていました。日々の活動により, 緑化環境に対する意識が高まっていると考えられます。



# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	19	学校名	仙台市立中田小学校	校長名	今野 孝
------	----	-----	-----------	-----	------

## 1 取組のタイトル, テーマ

4年生 総合的な学習の時間 名取川について調べよう



## 2 取組の紹介

中田小学校区には、名取川が流れています。4年生は、総合的な学習の時間に、中田への理解を深める学習に取り組みました。その一環として、名取川について学びました。

### ○名取川でのフィールドワーク

#### 【水質調査・水生生物の調査】

水質調査をし、水質と、そこに住む生き物との関わりについて学びました。



#### 【川遊び】

川に入り、川遊びをしました。川で遊ぶときに気を付けることや、生き物を見付けたり触ったりするときのマナーについてゲストティーチャーから教えていただきました。



○名取川周辺の環境や、広瀬川の交わりについての学習。

## 3 取組の成果 (児童の変容)

ゲストティーチャーである国土交通省の方から講話をいただいたり、子供たち自身で調べたりすることによって、自分たちの地域の川である名取川について理解を深めました。

川に入る活動では、協力団体であるカララバンの方々や、サポーターさんの御協力のもと、安全に活動することができました。ライフジャケットの着用の仕方について教えていただいたり、生き物に触るときのマナーを教えていただいたりと、環境に配慮しながら自然と触れ合う充実した時間となりました。また、水質調査によって、名取川の生き物や、その生き物の住む環境について体験的に理解し、名取川的环境を守っていこうという意欲が高まりました。

地域を流れる名取川、また中田小学校区への愛着心が高まり、その心が環境を保全する心へとつながっています。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	20	学校名	仙台市立六郷小学校	校長名	有馬 玄康
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

「限りある資源を使い続けるために、自分たちにできることを考えよう」



## 2 取組の紹介

### (1) 4年生社会科「ごみの処理と利用」

- ・4年生では、社会科「ごみの処理と利用」の学習を通して、リサイクルすることやごみを減らすために必要なことなど、エコ活動の大切さを学びました。ごみをできるだけ減らして再利用していく呼び掛けを行い、エコな社会づくりへの意識を高めています。
- ・仙台市環境局家庭ごみ減量課の方々に出前授業をお願いし、実際に、ペットボトルのごみをどのように分別するのか、詳しい分別の仕方を教えていただきました。



### (2) ごみの分別, 紙のリサイクル

各教室や職員室では、プラごみと燃えるごみを分別して捨てています。教室内や学校全体のごみ置き場にも表示を用意することで、分別への意識を日常的に高めています。

また、職員室や印刷室には、紙を分別する「紙ごみ専用リサイクルボックス」が設置されています。片面印刷用の裏紙として再利用できるもの、両面印刷済みで古紙回収に出すもの、その他の雑紙に分け、リサイクルしやすいよう工夫をしています。その他、分別のための実践例として、付箋やメモ用紙のような小さな雑紙も分別できるように、分別を促す啓発の貼り紙も掲示されています。



## 3 取組の成果 (児童の変容)

### (1) 児童の振り返りから

「ごみの処理と利用」の学習を通して、ごみの分別や行方、清掃工場の工夫、ごみ処理後の再利用についてなどを学習しました。少しでもごみを減らすために、自分たちにできることをノートにまとめました。

また、出前授業でペットボトルの分別の仕方を教えていただいた際には、「いつも家の人が分別してくれていたことに気付けた」や、「これから自分で飲んだペットボトルや、家族の分のペットボトルまで分別していきたい」など、分別の取組に対する前向きな様子が見られるようになりました。エコ活動の大切さを深く感じ取ることができたようです。

### (2) 取組の成果

裏紙再利用用紙や、古紙回収用用紙として紙を分別、再利用することで紙の使用量を減らし、ごみ減量につなげることができました。また、その他の紙ごみも分かりやすく分別を促したことで、紙ごみ専用リサイクル回収ボックス自体も使いやすくなりました。小さな紙ごみでさえも、燃えるごみとして出してしまうのではなく、少しでも雑紙をまとめて捨てることで、環境により分別の仕方についてより意識できるようになりました。